

仙台市介護保険審議会 議事録

(第7期計画期間 第3回会議)

日時：令和2年3月23日(月) 14:00～14:55

場所：市役所本庁舎2階第1委員会室

<出席者>

【委員】

板橋 純子委員，岩淵 秀子委員，大内 修道委員，駒井 伸也委員，斉藤 誠一委員，
佐藤 功子委員，鈴木 峻委員，田口 美之委員，辻 一郎委員，橋本 啓一委員，森 高広委員，
若生 栄子委員，渡邊 純一委員 (13名，五十音順)

(井野 一弘委員，木村 昭憲委員，草刈 拓委員，小坂 浩之委員，土井 勝幸委員，
長野 正裕委員，宮林 幸江委員 欠席)

【事務局 仙台市職員】

船山健康福祉局長，郷家保険高齢部長，白岩高齢企画課長，松本地域包括ケア推進課長，
千葉地域包括ケア推進課認知症対策担当課長，中村介護保険課長，岩瀬介護事業支援課長，
大関青葉区障害高齢課長，早坂宮城野区障害高齢課長，樋口泉区障害高齢課長，
増子泉区介護保険課長，小笠原高齢企画課企画係長，菊田高齢企画課在宅支援係長，
高橋地域包括ケア推進課主幹兼推進係長，熊谷介護保険課管理係長，
柿沼介護保険課介護保険係長，高橋介護事業支援課指定係長

<会議内容>

1 開会

2 諮問

船山健康福祉局長から社会長に諮問

船山健康福祉局長あいさつ

社会長あいさつ

3 議事（社会長による進行）

会議公開の確認 → 異議なし（傍聴者なし）

議事録署名委員について，大内委員に依頼 → 委員承諾

(1) 仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

中村介護保険課長から説明（資料1，参考資料）

<質問事項>

○斉藤委員

確認となるが，国の基本指針に基づいたものが諮問案であって，これを議論しながら答申案

を作っていくといった考えでよろしいか。

○中村課長

諮問については、介護保険事業計画の策定を本市よりこの審議会に対してお願いをしたものとなる。基本指針については、各自治体が介護保険事業計画を策定する際の方針を国が示したものとなるが、前回の基本指針からそれほど大きく逸れているものではない。しかし、2040年を念頭に置くことなど、どのような新しい要素を盛り込むべきか国で議論がされているところであり、その新しい要素も見据えながら議論を進めていただくことになる。

○斉藤委員

現時点で諮問案というものはないのか。

○中村課長

基本指針について、国から前期の基本指針は示されているが、新しい第8期事業計画に向けたものについては、国が検討しているといった状況である。

○斉藤委員

第8期策定についての諮問案はないのか。

○郷家部長

今後については、この後説明させていただくアンケート調査結果や仙台市の現状等のデータ等をこの審議会でお示し、また、計画の内容等については、事務局から計画の骨子をお示しし、それについての審議の結果を踏まえ形を作っていくながら、皆さまにご議論していただくものと考えている。国の指針とアンケート結果について本日はご説明させていただきたい。

○田口委員

2点質問したい。1点目は来年度のスケジュールだが、5月から10月までに中間案をまとめるとなっているが、前回は中間案をまとめるまでに審議会を何回開いたか。

2点目は、厚労省から示されている基本指針について、6ページ目に示されている2025年で団塊の世代が後期高齢者となるピークを迎えるとあり、その後2040年以降は高齢者人口も減少していくとあることから、その辺を踏まえて過剰な計画を作らないようにしなければならない。6ページの4番に有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化とあり、特養と同じような機能を果たすが、市の認可がなくても作れる住宅型有料・サービス付き高齢者向け住宅はほとんど看取りまで含めた特養と同じような機能を果たしているのだから、その辺の全体像を見ながら特養・老健の施設整備計画を作っていく必要があるのではないか。前回の時もなかなか計画通りにやるのが役所の責務みたいな考えであったが、後々、作ってみて空きが出る状態で困るのは、利用者であり、事業者であり、役所でもあるので、そこを踏まえて考えていただきたい。

○中村課長

前回の計画策定時は、中間案の策定までに6回の審議をいただいている。整備量について、国の方で2040年を兼ね合いに出してきたのは、全国的な動きを見ると、団塊ジュニア世代が全員65歳以上となるが、仙台市のように2040年に向かって高齢人口あるいは高齢化率が右肩上がりしていくようなところと、すでに過疎化が進み高齢人口がピークになっていて、いまのサービス量ですでに多い状態、そういった各自治体の高齢者人口のこれからの推移とかそういうものを意識しながら整備をすることになるので、田口委員からお話しがあったように、次回以降今後の人口の推移、状況・データなども示しながら皆さんにはご審議いただきたい。

○岩瀬課長

特養の整備については、今期計画では850床の計画としているところではあるが、実際の待機者の状況等も加味していくと、なかなかこのまま産めよ増やせよといった形ではいかないと考えている。利用者や待機者の状況、利用料もいろいろな種類があり、そういった状況を勘案しながら、適切な量で計画に盛り込んでまいりたい。

○斉藤委員

どの計画でもそうだが、計画は絵に描いた餅ということがよく言われる。7期計画を策定した際も同様だと思うが、いま議論を重ねていって、青空天井で財政的な裏付けがないまま、こうあったらいいという理想論で進めた場合に、そういう計画が、議会から市の財政的に可能かと言われたら、どのように答えるのか、考えを聞きたい。財政的に2025年や2040年のフレームをある程度考えて、計画を立てないといけない。

○中村課長

介護保険は保険料あるいは利用負担が一体となって財源となっている。介護保険の事業計画自体は、将来的なサービス利用量を見込んだうえで、どのくらいお金がかかるのか。そういったものを見据えながら計画を策定するものである。詳しい話にはなるが、一般会計からお金をもらってサービスを供給する部分もある。財政局とは話をしながら、計画策定にあたっても全庁的な合意を得ながら進めるが、実際に2040年にいくら必要か、その辺まで財政的な裏付けが担保できているのかということそこは難しいと思っている。

(2) 仙台市介護保険事業計画策定のための実態調査の報告について

中村介護保険課長から説明（資料2）

<質問事項>

○斉藤委員

資料2の8ページの参考と10ページの参考の見方で、無理なく支払える額の割合が減ってきている。この辺が計画策定の際に考慮すべきところと思う。先ほど話したが、基本的なフレームの中で、高齢化率が国の場合は2040年には35.3パーセントになり、高齢者は3,900万人になると言われている。ですから高齢化が相当進んでいると言える。今後20年後の日本の姿を踏まえて、仙台市の人口フレームを出さなくてはいけない。それで高齢化率や高齢者人口に対する要介護者の割合を出して、計画を策定していかなければならないと思う。財政フレームとか人口フレームを固めてから、計画を作るべきだと思う。

調査をして速報値ではあるが、中身は途中までだ。No.10の介護サービスの在り方までだが、今後集計次第これ以降の分は出てくるという理解でよいか。

○中村課長

今現在、速報値ということで出している。我々も分析できていない所もあるため、随時結果を出していく。人口フレームについては仙台市で人口推計を行っている。現在総合計画の策定中のため、その中で市で公表している数字を出すと、2040年の仙台市の高齢化率は約35パーセントとなっている。しかしながら、ここがピークではなく10年以降後にピークが来る。この間現役世代がどんどん減るため、相対的に高齢化率が伸びていく。

○鈴木委員

資料2の5ページから7ページの在宅サービスの種類について、現在や今後の利用意向について出ているが、施設サービスは出していないのか。

○中村課長

主に在宅のサービスについての利用状況を調査している。ここに載せてはいないが、施設入所の状況についても別で聞いているがここでは載せていない。

○鈴木委員

次回以降で、示されるという認識でよいか。

○中村課長

次回以降でお示しする。

○板橋委員

資料2の5ページの現在利用している在宅サービスの種類の中で利用していないと回答した方が15.3パーセントとあるが、私個人の考えでは、申請を出して介護認定を受けても、利用していない人の数としては、多いのかなと思っている。前回調査では、どのくらいだったのか。

また、申請して、認定があっても利用しないことについては仙台市としてどのように考えているか。

○中村課長

前回、前々回調査時の結果については、6ページにあるように前回調査時は14.0パーセント、前々回調査時は13.2パーセントである。この調査は在宅のサービスの利用状況を聞いているため、施設入所の方はこの数字には入っていない。

○橋本委員

資料2の5ページの在宅サービスの種類について、地域の実情であったり、制度の利用状況を知るために、地域包括支援センターに足を運んでいるが、これまでの介護保険サービスに加えて総合事業が加えられたものが今回の調査結果として出ているが、それぞれの制度に対するニーズがあるにしても、一定程度わからないや無回答の数字があるということは、新たな総合事業に対する認知度や理解度がまだまだ深まっていないのだと思う。こういったことに対する分析をどのようにしているのか。更に今後どのように認知度を高めていくか。説明を求める。

○中村課長

介護保険のサービスについては、ご本人が利用しているサービスの名称を完全に理解している方は少ないと思っている。そういった部分をケアマネジャーの方に担っていただきながら、利用者のニーズに合った調整をし、サービスを利用していただきたい。今回サービスの種類について、回答は本人あるいはご家族の方が回答、またはその他の方が回答しているなど、様々で、本人や家族が回答している場合に、わからないという回答比率が多いと思う。詳細な分析はまだこれからとなる。適切なサービスの利用につながるようケアマネジャーの方々と協議をしていきたい。

○橋本委員

利用者負担感があるのかわからないというような、本人以外が回答している場合があるからこそ、このような回答が出てくると理解はする。わかりやすい制度の資料が配られている

のだから、こういった資料をたくさんの方々にご覧いただくようお願いしたい。また、一般介護予防事業については別に説明があるのか。

○中村課長

介護予防事業については、次回以降、資料を示しながら説明していく。

○橋本委員

一般介護予防事業の中で、地域で自主的に取り組むグループの育成に取り組んでいるが、グループが立ち上がっているが、行政的な支援や活動する場所の確保が難しいという話を聞く。こういった問題に対してどういった支援を考えているか。

○松本課長

介護予防自主グループとして、地域で自主的に運動を行うグループが市内に約230ある。現在行っている支援としては、活動の中心となっている介護予防運動サポーターの養成や、スキルアップの研修などである。グループの活動場所としては、地域の集会所やコミュニティセンター、市民センターである。自主グループのほかにも地域包括支援センターが主催する介護予防教室なども行っている。こういったものを通じて身近なところで介護予防に取り組んでいただける環境を作っていきたいと考えている。

○橋本委員

活動するにはそれなりのステージが必要だということで、自主団体だと経費や場所等、様々な問題があると聞いている。そういったところも、いろいろなやり方があるのかもしれないが、今後改めて確認をしながら、進めていただけたらと思う。

○若生委員

資料2の8ページの利用者負担の負担感ということで、「無理なく支払える額である」と「なんとか支払える額である」を合わせて「支払える」63.3パーセントとあるが、なんとか支払える額であるということは、どうしても介護保険を使わないとやっていけないので、他を切り詰めて介護保険を支払っているということだと思う。本来ならば無理なく支払える額であるという所で、必要な介護支援を必要な人が受けられる仕組みにしないと、市民の生活としては、なかなか苦しいものである。2021年度以降の介護保険の制度改正に際して、更に「なんとか支払える額である」や「支払いが困難な額である」の割合が増えるのではないかと懸念している。「なんとか支払える額である」が支払える額であると捉えられるというのは、介護保険を利用するものとしては、辛い。

4 報告

- (1) 地域密着型サービス運営委員会（第7期第6回・第7回会議）について
渡邊委員より説明（資料3）

<質問事項>

なし

- (2) 地域包括支援センター運営委員会（第7期第6回・第7回会議）について
鈴木委員より説明（資料4）

<質問事項>

なし

5 その他

○田口委員

介護人材確保による持続可能な介護保険制度の確立を求める件という意見書が市議会の全会派一致で採択され、国会や財務省、厚労省等に送付されており、その中身が4つほどある。

1つ目が介護人材の確保定着を図るため、ほかの業種より著しく低い水準にある介護職員の処遇を改善し、適切な介護報酬を設定するとともに、加算取得など請求時の事業者の負担が軽減されるよう、簡素明快な制度手続きにするなどの改善をしていただきたい。

2つ目が外国人労働者の日本の選択肢、生きがいを持って働けるよう賃金水準の引き上げを含めた労働環境の改善、在留期間延長の要件緩和などの外国人雇用関連制度の改善を図っていただきたい。

3つ目が地域医療介護総合確保基金については、地域のニーズを踏まえ、これまで以上に細かな介護人材確保を進められるよう基金の政令指定都市への配分枠を確保するなど、弾力的運用を可能とする。これは、もともと県にきている基金を政令指定都市に交付するよう政令指定都市市長会が依頼しているが、進んでいない。

4つ目は介護が必要な人がサービスを受けられるよう介護保険財政に対する国の負担割合を引き上げて、介護保険制度の改善を図る。以上4つの内容の意見書が採択されたので、当局においては、意見書の趣旨も踏まえて、今後の計画書の策定にあたっていただければと思う。

事務局から次回の日程案について説明（令和2年5月末ごろ開催予定）

6 閉会